

牛道春秋

駐在妻の欄

▼小学四年生の長女が学校の茶道クラブに入りました。▼「毎回お菓子を食べられるから」という^{よこしま}邪な理由で希望したのは明らかでした。▼クラブがあった日は「今日は鯛焼きだった!」「今日は下呂の銘菓しらすぎ物語だった!」と毎回うれしそうに報告してくれるので「いいな。お母さんも参加したいな。」と言うと「おばさんはダメ。」とピシヤリと拒絶されてしまいました。▼今まで抹茶味の食べ物は避け、オヤツと言えば、うまい棒と牛乳の長女でしたが、最近は「お抹茶好きやわあゝ。」とすっかり抹茶の虜になってハーゲンダッツの抹茶味を嗜んでいます。▼何はともあれ、少々大雑把な性格である長女が、茶道を通して、ゆとりのある大和撫子に少しでも近づくよう楽しんで習って欲しいと思います。▼そんな中、主人は、長男が食べた「うまい棒明太子味」の袋に残った魔法の粉をもつたいないからと舐め、更に「野菜サラダ味の方が美味しい。」と文句を言っていました。▼大和男子には程遠い。